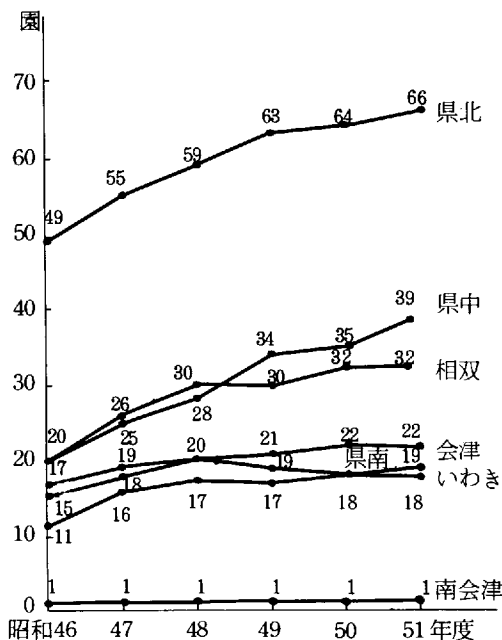


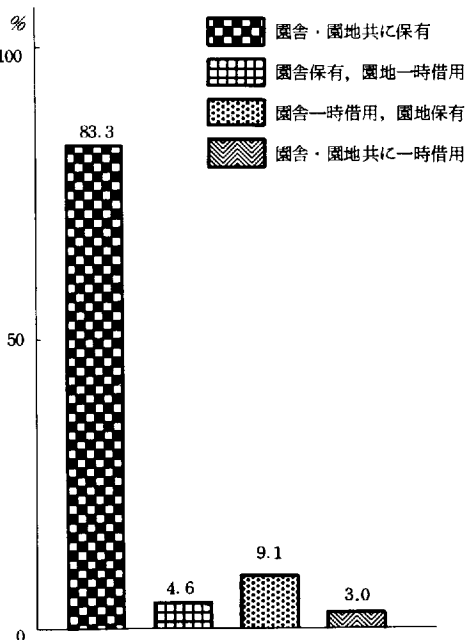
次に、その推移をみると、図2-1-14のとおり、県北、県中、相双、会津及びいわき地域が漸増傾向を示している。南会津地域は、全く増減がなく、一定である。

図2-1-14 公立幼稚園の設置状況



注：1. 「公立学校建物の実態調査報告」(昭46～昭51)による。
2. 幼稚園数には、分園を含む。

図2-1-15 公立幼稚園園地・園舎の設置形態



注：1. 園舎については、「公立学校建物の実態調査報告」(昭51)による。
2. 園地については、「財務課調査」(昭52)による。ただし、幼稚園数は、昭和51年5月1日現在とする。

幼稚園の園地及び園舎の設置形態をみると、図2-1-15のとおり、園地、園舎ともに保有している幼稚園は、83.3%と極めて多く、園地、園舎のいずれかを一時借用している幼稚園及び園地、園舎ともに一時借用している幼稚園は、極めて少なく、独立設置形態が確立している。

前述のように、本県における幼稚園の多くは、園地、園舎ともに保有している独立設置形態であるが、幼稚園長の多くが小学校長との兼務であるという現状から推定すれば、小学校に隣接して設置されている幼稚園が多いことは、明らかである。

幼稚園園舎の構造別保有状況をみると、表2-1-11のとおり、本県の場合、各年度ともに、木造が極めて多く、鉄筋及び鉄骨は、少ない。しかし鉄筋及び鉄骨面積は、毎年増加の傾向にある。

表2-1-11 公立幼稚園園舎の構造別保有状況

(単位：県 m²、全国 千m²)

区分年度	県				国			
	鉄筋(R)	鉄骨(s)	木造(w)	計	鉄筋(R)	鉄骨(s)	木造(w)	計
46	1,646	2,357	38,805	42,808	265	215	1,094	1,574
47	2,194	3,949	41,729	47,872	346	273	1,075	1,694
48	3,483	5,411	41,921	50,815	454	352	1,060	1,866
49	6,055	7,410	42,648	56,113	563	435	1,052	2,050
50	6,450	11,298	40,811	58,559	687	513	1,040	2,240
51	7,520	13,203	40,205	60,928	781	571	1,040	2,392

注：「公立学校建物の実態調査報告」(昭46～昭51)による。